



| 有限会社萩村製茶

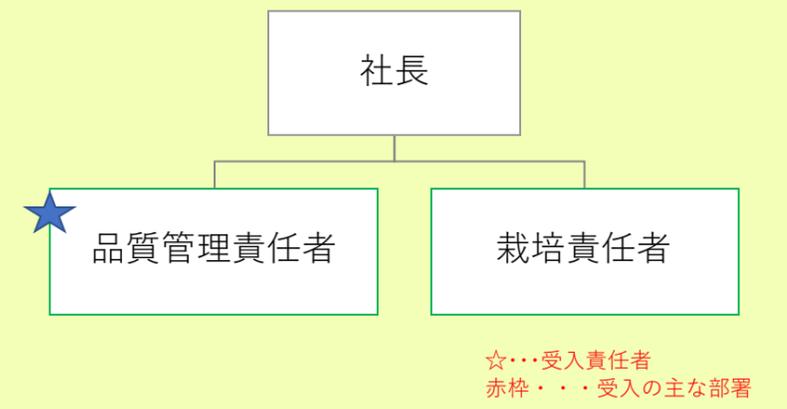
鈴鹿山脈の麓にある三重県四日市市水沢町は、古くからのお茶処で、良質な高級茶かぶせ茶の産地として有名。そして三重県は全国第三位の生産量を誇ります。萩村製茶は、現在年間370t(製品ベース)の生産を行っており、荒茶生産量や規模においては、全国屈指、県下一だと自負しております。抹茶の原料となる「てん茶」を主力に、かぶせ茶、モガ茶、ギャバロン茶、和紅茶なども生産。また、荒茶加工だけでなく仕上げ加工も行っており、生葉から袋詰やティーバッグ詰めまで一貫生産体制を築いています。

平成30年度 関西茶業品評会 農林水産大臣賞受賞。

法人名	有限会社萩村製茶
代表者名	代表取締役社長 萩村重美
主な経営作物	茶
その他事業	お茶の加工・販売
従業員数	常勤7名(常勤パート15名) / 臨時雇用 50名/年
関連会社	—
売上	830,000千円(H29)

JGAP・ASJIAGAP認証	生産・加工販売まで	海外展開	規模拡大中
茶で6次化	三重特産品(かぶせ茶)	受賞歴多数	

| 指導体系



当法人における人材育成目標

| 3年後の到達目標

- リーダーとして、自分発信で行動し、周囲に良い影響を与える
- お茶の品質、茶畑の良しあしが分かる
- 仕事の段取りが出来る

| 法人で求める基礎的な素質

【求める人物像】

- 利他の心を持ち、チームや関係する人に思いやりを持って行動できる人
- 社会的マナー
- 自分の健康管理・自己管理が出来ること
- 向上意欲・探求心

| 経営者・経営陣としての考え

【会社の方針】

四日市市水沢町は古くからのお茶処で、良質な高級茶かぶせ茶の産地です。しかしながら、高齢化が進み、引き継げなくなる茶畑を萩村製茶が受け継ぎ守りながら、茶の産地を維持し、地域に根差した企業として、地域に貢献していきたい思いで取り組んでいます。また、付加価値の高いものを作り、自社のブランドとしてのお茶をお客さんに届けていきたいと考えています。社是にもあるように、“お届けする”という事が大事だと考え、売るだけではなく、飲んでいただき、末端の消費者の方々が喜んでもらえるような取り組みを行っていくと同時に、会社の名前も認知されるように、顔の見える流通を構築していく方針です。現状でも、三重県の方と一緒に、アメリカや海外などにも展開しており、今後も世界的なお茶ブームによって販路も拡大していきたいと考えております。

「2025年までに世界中から必要とされるお茶屋になります」

こうした目標のもと、会社としての成長と一緒に自分ごととして熱意をもち、周囲を巻き込みながらチャレンジできる向上意欲ある人材を求めています。

【人材育成に関する方針】

「お茶」を理解するには、五感を使った相当な経験の蓄積や、知識理解を深めていく学習が必要となり、簡単なことではありません。ただ、農業未経験でも問題はありません、毎週木曜日には勉強会を開催し日本茶インストラクターである品質管理責任者が指導、お茶の品質や栽培についても理解を深めてもらうための仕組みづくりは行っています。しかしながら、やる気がある人とそうでない人では、同じ時間でも得られる能力に差が出てくると考えています。

良いお茶を作り、お客様にどうやって届けていくか熱心に追求したい気持ちを持つ人、またチームや関係する人と調和しながら成長していきたい人材を歓迎します。

インターンシッププログラム フロー

コース特徴	指導体制	継続雇用の有無
品質の高い茶の栽培、自社工場での加工、販売等を法人では一連で行っている技術だけではなく、お茶に関する知識や文化についても学べる環境	担当者：品質管理責任者・栽培責任者 技術習得：各チーム先輩社員それぞれについて指導を仰ぐ	法人希望：有 ※ただし、本人の適正・面談等による。独立希望者も受入可

目指す習得スキル

1年目

【技術面】

- 茶畑の全体の作業状態を見て理解する（重点的に）
- 施肥管理（種類）
- 加工場の製造工程を理解する
- お茶の鑑定技術を理解する

【コミュニケーション面】

- 仲間に溶け込む
- 挨拶ができる

2年目

【技術面】

- おおよそ1年の作業でどのような事をするか分かっている
- 自分で製造工程を判断して、作業調整ができる、判断基準が持てる（害虫・雑草対応含む）
- お茶の品質・鑑定の判断基準が持てる

【コミュニケーション面】

- 自分毎で考えていく

3年目

【技術面】

- 品質管理に気づけて発言できる
- 加工場では、品質を保つために条件を設定できる
- お茶の鑑定技術

【コミュニケーション面】

- 渦の中心になれる人物になっていく。ことを起こすときに自分で発信しリーダーシップを発揮していく。

到達目標

- リーダーとして、自分発信で行動し、周囲に良い影響を与える
- お茶の品質、茶畑の良さあしが分かる
- 仕事の段取りが出来る

モデル実施プログラム

1年目

- 品質管理責任者・栽培責任者に帯同して仕事（栽培・加工場で）を行うことが前提
- 栽培責任者・先輩社員の指示のもと、1年間を通した栽培作業を経験する
- 畑の所在地を覚える
- 畑の様子など、よく観察して理解を深めさせる（病虫害・雑草等の、茶園に悪影響となる要因の把握）

2年目

- パートに仕事を与えられるよう、仕事の準備や作業スケジュール等の段取りを考える（場長に相談しながら）
- 茶畑の栽培に関する簡易な機械操作、加工場での作業

3年目

- 仕事において、改善すべき点を自ら考えて、実行していく
- 品質管理責任者・栽培責任者と共に、収支管理・作業管理・来年度のスケジュール計画調整にかかわる
- 病虫害等への対処方法の検討・実行

法人における研修要素（仕事の詳細）例

生産・加工に関わる項目

項目		実施時期
茶畑の栽培管理	施肥	1年～
	耕起	1年～
	被覆	1年～
	整枝	1年～
	雑草管理	1年～
	茶摘	1年～
	土壌改良	1年～
	簡易な機械操作	2年～
	施肥設計	2年～
	防除	3年～
加工場	荒茶製造（機械操作）	1年～
	再生加工・抹茶加工	1年～
	機械メンテナンス	1年～

営業・その他に関わる項目

項目	実施時期
茶畑の収支管理	3年～
次年度の作業計画	3年～
品質管理	3年～
商談会・展示会・イベント同行	不定期

その他備考

- お茶の栽培・品質・鑑定技術に関する勉強会の開催（毎週木曜）

研修目標到達の検証方法

- 定期的な面談（四半期一回）を予定

（補足）法人における年間・日々の営農スケジュールイメージ

年間栽培スケジュール・イベント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
茶畑	浅耕起・芽出し肥料施用 被覆 製茶準備	一番茶 摘採	化粧整枝・夏肥①	被覆・挿し木・夏肥②	二番茶 摘採	夏整枝 お礼肥施用	土壌改良 深耕 秋肥①	施肥・防除 秋肥②	秋番茶 摘採	秋整枝 改植準備	敷き草敷き 堆肥施用	茶園資材管理	浅耕起・春肥① 裾刈り 春整枝	浅耕起・春肥② 苗木植え付け
加工場	荒茶加工	荒茶加工	荒茶加工	荒茶加工	荒茶加工	再生加工・抹茶加工	再生加工・抹茶加工	再生加工・抹茶加工	再生加工・抹茶加工	再生加工・抹茶加工	機械メンテナンス	機械メンテナンス	機械メンテナンス	機械メンテナンス
他（イベント）	※他、不定期で商談会・展示会・イベント				BBC大会			品評会視察研修等		忘年会				

その他定期的な業務/不定期なスケジュール

定例業務等	不定期業務
<ul style="list-style-type: none"> 朝礼 毎月1日は5Sデー（茶園・加工場の整理整頓） 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会（冬期・毎週木曜日） 清掃活動（雨天時など） 商談会・展示会・イベント等